

滋賀県議会ナビ（滋賀県立東大津高等学校） 結果概要

- 1 日時 令和8年1月14日（水）15:25～16:15
- 2 場所 滋賀県立東大津高等学校 体育館
- 3 出席者
（議員）
奥村 芳正議員、富波 義明議員
（生徒）
高校2年生9クラス 約350人
- 4 見学議員 なし
- 5 報道機関 京都新聞、読売新聞、毎日新聞、びわ湖放送
- 6 概要

（1）議員自己紹介

各議員から議員を志したきっかけ等の紹介がありました。



（2）議会の仕組み・議員の仕事説明

富波議員から議会の仕組み・議会広報について、奥村議員から議員の仕事について、自身の体験談等を交えながら説明がありました。





(3) 質疑応答

(質問)

県議会で決まる政策の中で高校生に最も影響があるものは何ですか。

(冨波議員)

例えばトイレが綺麗になった、グラウンドが大きくなった、照明がついた、体育館にクーラーがついたなど、学校環境が良くなるということがあります。あとは、学科の新設など学ぶ内容について変わるというところが大きいです。

(奥村議員)

今、人口減少の中で県内の高校生の数も減っています。その中で、魅力ある学校づくりということで、魅力的な学校を増やし生徒の選択肢を増やすことにつながる施策を教育委員会で立案しています。議会からは学科編成も含めて意見を伝え、より良いものにしていこうとしています。

(4) アンケート (抜粋)

- 「議会ではとても堅苦しいようなことを話し合っているのかと思っていましたが、滋賀県を近江県にするということや、滋賀ナンバーを琵琶湖ナンバーにするなどの話し合いもあったと聞いて親近感がわきました。」
- 「議会について色々聞いて私たちが通っている学校の設備に関しても色々関わっていることを知りました。そのことから、議会での話し合いなどがたくさん行われていることで私たちの生活が少しずつ、充実していることを知って、とても大切な存在であることを感じました。」
- 「私たち高校生がよりよい学校生活を送るために議会で議員の方々が議論してくださっていると知って、感謝の気持ちを大切にしたいと思いました。自分たちの意見をより政治や社会に取り入れてもらえるようにもっと地方議員や議会、政治に興味を持って、選挙権をもらえたらちゃんと選挙に行きたいと思いました。」
- 「もともと議員の仕事などを調べていた時期があり、特に大きな気づきなどは得られないと思っていましたが、実際に議員さんからの話を聞くと知らないものがたくさん出てきて、聞いていて面白かったです。」